

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
資料配布

配布日時	平成 28 年 3 月 9 日
------	-----------------

件 名	第 3 回足羽川ダム環境モニタリング委員会 の結果概要について
-----	------------------------------------

概 要	<p>平成 26 年 3 月に足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置の実施について、専門家の意見を伺うことを目的として、「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立し、平成 28 年 3 月 9 日に第 3 回足羽川ダム環境モニタリング委員会を開催しました。</p> <p>委員会の結果概要は、別紙のとおりです。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取 扱 い	_____
-------	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問 合 せ 先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所</p> <p>副 所 長 <small>こばやし まさひろ</small> 小林 正治</p> <p>調査設計課長 <small>ひとみ たけし</small> 人見 剛</p> <p>TEL 0776 - 27 - 0642 (代表) (内線 204・351)</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第3回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

【委員会の主旨及びこれまでの経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立しました。

これまでに2回のモニタリング委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただきました。

【第3回環境モニタリング委員会 開催概要】

平成28年3月9日に国土技術政策総合研究所において開催されました。委員会では、平成27年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び平成28年モニタリング調査計画（案）についてご意見をいただき、今後の調査及び環境保全措置の実施方針が確認されました。

委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況

委員名簿 (敬称略、五十音、◎委員長)

氏名	担当分野	現職等
おくむら みつし 奥村 充司	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
くぼかみ そうじろう 久保上 宗次郎	鳥類 生態系	猛禽類研究家
なかむら さちよ 中村 幸世	植物	福井市自然博物館 学芸員
◎ ふくはら てるゆき 福原 輝幸	水環境	福井大学大学院 工学研究科 教授
まつた たかき 松田 隆喜	魚類	福井農林高等学校 教諭

松田委員は、欠席。

第3回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項を報告しました。

- ・平成27年モニタリング調査結果と環境保全措置について
- ・平成28年モニタリング調査計画(案)について

II. 委員会での意見

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

委員からの意見	事務局回答
生態系の保全に関する調査は、工事前の現状把握であり、魚類の生息状況、河床材料の構成に係る調査方法も問題ないと思われる。	今後も適切に調査を実施します。
地下水利用について、社会的影響もあるので、丁寧に調査を行うこと。また、湧水について、時期的変動にも留意して調査すること。	井戸、水路、湧水もあり、それぞれの対象にあわせて適切な手法を選択します。
沢水利用箇所もあると思うので、適切に調査を実施すること。	沢水利用箇所では、流量調査など適切な調査を実施します。
河床の調査については、河床材料の調査のみでなく、瀬、淵などの状況についてもできる限り調査すること。	各種調査で得た瀬、淵などの現地情報は、河川環境基図を用いて整理します。
クマタカの調査結果によると、近年、繁殖成功率に低下傾向がみられるので留意すること。また、A、B、Dの3ペア以外も記録に努めること。	A、B、Dペアの調査時に隣接ペアの行動の記録を実施します。

III. 今後の予定

- ・平成28年モニタリング調査計画に基づきモニタリング調査を実施していきます。
- ・環境調査の結果により懸念がある場合は、委員会開催に限らず、適宜、委員よりご指導・ご助言を頂き、必要に応じて、速やかな対応を行います。
- ・委員会は年1回とし、次回は12月から翌年3月頃の間を予定しています。